

2026衆院選 立候補予定者 政策アンケート (RBC・琉球放送)

山川仁 1974年9月24日生まれ 豊見城市出身
1994年 県立豊見城南高校卒業
産能短期大学(通信)中退
2011年に豊見城市議会議員選挙で初当選 2期連続で当選
2018年に豊見城市長選挙初当選
2024年に衆議院議員選挙初当選 れいわ新選組国会対策委員長

玉城県政の支持 支持する / 支持しない

支持する
支持はするが、一層のリーダーシップを求めたい。
政府の基地と沖縄振興を結び付ける政治的嫌がらせのなか、県政運営を踏ん張っている。しかし、辺野古新基地だけでは、那覇軍港問題や南西シフト、子どもの貧困、離島格差などへ踏み込んだ対応を期待したい。

高市政権の支持 支持する / 支持しない

支持しない
沖縄の声を踏みにじる政権を支持する理由はない。高市政権は、防衛力強化の名の下に南西諸島の軍事化を加速させ、沖縄を再び「最前線」として位置付けている。辺野古新基地建設を強行し、日米地位協定の不平等にも手を付けず、県民の安全や人権より国策を優先する姿勢は到底容認できない。物価高や貧困拡大への対策も不十分で、生活より軍事を優先する政治は国民を守らないのは言語道断。

今回の選挙戦の最大の争点は何ですか。

今回の選挙の最大の争点は、「沖縄をこれ以上、軍事と基地の島にしない」という一点に尽きる。南西シフトの下でミサイル配備や基地機能強化が進み、県民は有事の標的とされかねない状況に置かれている。同時に、基地負担と引き換えにされてきた振興策は約束通り実行されず、貧困や所得格差は放置されてきた。軍事優先か、暮らし優先か。主権と生活を守る政治への転換が問われている。

最も重視する政策について選択肢から1つ選んでください。

①経済・雇用 ②米軍基地問題 ③安保政策・自衛隊配備 ④医療・福祉 ⑤教育・子育て ⑥沖縄振興計画 ⑦その他

30年経済を破壊してきた消費税は廃止。沖縄が抱える多くの課題の根底には過重な米軍基地負担があり、経済を立て直しと基地負担解消は切り離せない。騒音、事件事故、環境破壊、土地利用の制約は、経済発展や子どもの貧困、離島格差にも直結している。基地問題の解決なしに真の沖縄振興はあり得ない。日米地位協定の改定、基地の整理縮小・返還を進め、軍事に依存しない地域経済と産業を育てることが、県民の尊厳と暮らしを守る。

普天間基地の辺野古移設計画についての政治姿勢を以下の選択肢から選んでください。

①推進 ②容認 ③反対

③反対
普天間の危険性除去は、辺野古新基地建設ではなく、無条件返還こそが唯一の解決策である。辺野古移設は、県民投票や度重なる選挙で示された明確な民意を無視した計画であり、民主主義に反する。新基地建設は危険性の固定化であって、負担軽減にはならない。さらに、軟弱地盤という技術的問題や、海洋環境への深刻な影響も無視されている。

南西地域の防衛力強化についての政治姿勢を、以下の選択肢から選んでください。

①推進 ②容認 ③反対

④反対
南西地域の防衛力強化は、地域の安全を高めるどころか、沖縄を紛争の前線に押し出し、住民を危険にさらすものである。ミサイル配備や基地機能強化は抑止ではなく、緊張を高める行為だ。沖縄はこれまで戦争の最大の被害を受けてきた。必要なのは軍拡ではなく、外交と対話による緊張緩和であり、米軍に依存しない専守防衛体制への転換である。